安全データシート · OSHA HCS 2024

A-A-59601E Type III ACS Grade

ACSグレード

準拠規格	改訂日	緊急連絡先
OSHA HCS 2024 · GHS Rev. 7	2026-11-12	Chemtel 1-800-255-3924 (24/7)

1 化学品及び会社情報

製品識別子	A-A-59601E Type III ACS Grade
グレード	ACSグレード
CAS番号	64742-47-8
化学式	混合物
分子量	製品により異なる g/mol
製造者	Alliance Chemical 204 South Edmond Street, Taylor, TX 76574
緊急連絡電話番号	Chemtel 1-800-255-3924 (24/7)
別名	洗浄剤、溶剤（A-A-59601E Type III）；高引火点水素化処理石油留分
推奨用途	機器および部品用の低危険性洗浄・脱脂溶剤（商用品仕様 A-A-59601E、タイプ III）。
使用上の制限	産業用および業務用。誤えん有害性：飲み込んだ場合、無理に吐かせないこと。適切な換気下で使用すること。

2 危険有害性の概要



刺激性 / 有害性



健康有害性

分類	誤えん有害性 区分1 特定標的臓器毒性（単回ばく露） 区分3（麻酔作用）
注意喚起語	**危険**
危険有害性情報	H304 飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ H336 眠気又はめまいのおそれ

注意書き

P260 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
P264 取扱い後は手や顔をよく洗うこと。
P271 屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。
P280 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。
P301+P310 飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡すること。
P304+P340 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し，呼吸しやすい姿勢で休息させること。
P312 気分が悪いときは医師に連絡すること。
P331 無理に吐かせないこと。
P403+P233 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。

P405 施錠して保管すること。
P501 内容物／容器を地方、地域、国及び国際的な規制に従って廃棄すること。

分類、危険有害性情報（H）、注意書き（P）及び絵表示は、OSHA HCS 2024（29 CFR 1910.1200 付録A〜C）に従い、GHS改訂7版に整合する。

3 組成及び成分情報

成分	CAS No.	化学式	濃度
蒸留物（石油）、水素化処理軽質	64742-47-8	混合物	70-100% (w/w)
Alkanes, C14-16	90622-46-1	混合物	20-30% (w/w)

濃度は公称値であり、ロットごとの数値は分析証明書に記載されています。分類に寄与しない成分は省略されています。

4 応急措置

眼
多量の水で少なくとも15分間洗い流してください。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外してください。洗浄を続け、直ちに医師の診察を受けてください。

皮膚
汚染された衣類を脱がせながら、直ちに多量の水で少なくとも15分間洗い流してください。石けんで洗い、直ちに医師の診察を受けてください。

吸入
被災者を新鮮な空気の場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休ませてください。呼吸が困難な場合は酸素を与えてください。呼吸していない場合は人工呼吸を行い、直ちに医師の診察を受けてください。

飲み込んだ場合
無理に吐かせないでください。意識のない人には口から何も与えないでください。意識がある場合は口を水ですすぎ、直ちに医師の診察を受けてください。

最も重要な症状及び影響
嘔吐時などに肺へ吸引されると化学性肺炎を起こすおそれがあり、死に至ることがある。
蒸気を吸入すると眠気、めまい、頭痛及び吐き気を起こすおそれがある。

直ちに必要な医療措置及び特別な処置
誤えん有害性：飲み込んだ場合、無理に吐かせず、直ちに医師の診察を受けること。医師への注意：化学性肺炎の発現に注意し、胃の処置の前には気道を確保すること。

5 火災時の措置

適切な消火剤
水噴霧、耐アルコール性フォーム、ドライケミカル、またはCO2を使用すること。地域の状況に適した措置を講じること。

使ってはならない消火剤
棒状放水は、火災を飛散・拡大させるおそれがあるため使用しないこと。

特有の危険有害性
加熱により容器が破裂するおそれがある。

保護具
空気呼吸器および完全な保護衣を着用してください。

危険有害な燃焼生成物
燃焼により一酸化炭素、二酸化炭素および未燃炭化水素が発生する。

6 漏出時の措置

人体に対する注意事項
第8項に記載の保護具を使用してください。十分な換気を確保し、作業者を安全な場所へ避難させてください。

環境に対する注意事項	漏えい物が排水溝、下水道または水路へ流入しないようにしてください。
封じ込めおよび浄化の方法	不活性吸収材で吸収し、適切な廃棄容器に回収してください。関連法令に従って廃棄してください。

7 取扱い及び保管上の注意

安全な取扱い	十分な換気のもとで使用してください。皮膚、眼および衣類との接触を避け、取扱い後は十分に洗浄してください。使用しないときは容器を密閉してください。
安全な保管	涼しく乾燥した、換気の良い場所に保管すること。混触危険物質から離して保管すること（第10項を参照）。容器を密閉しておくこと。
保管上の特別な注意事項	酸化剤及び熱から離し、換気の良い涼しい場所に密閉して保管すること。施錠して保管すること。

8 ばく露防止及び保護措置

許容濃度

限度	値
OSHA PEL	500 ppm TWA
NIOSH REL	350 mg/m³ TWA / 1800 mg/m³ Ceiling (15 min)
IDLH	20000 mg/m³

設備対策	十分な換気を行ってください。使用区域の近くに洗眼設備および安全シャワーを設置してください。
眼／顔面の保護具	化学用保護めがねまたはフェイスシールドを着用してください。
皮膚の保護	耐薬品性手袋および保護衣を着用してください。
呼吸用保護具	ばく露限界を超える場合または刺激が生じる場合は、NIOSH承認の呼吸用保護具を使用してください。

ばく露限界はNIOSH Pocket Guide、OSHA 29 CFR 1910.1000およびACGIH TLVに基づいています。

9 物理的及び化学的性質

外観	無色透明の液体
臭い	炭化水素様
臭いの閾値	データなし
pH	該当なし（非水系）
融点／凝固点	-22 °C (-8 °F)、凝固点
沸点	蒸留範囲 242–276 °C (468–529 °F)
引火点	101 °C (213.8 °F)、密閉式 (ASTM D56)
蒸発速度	データなし
可燃性（固体、気体）	データなし
燃焼又は爆発範囲の上限／下限	爆発下限 0.5% / 爆発上限 4.7–7.0%（空気中 v/v）
蒸気圧	20 ℃において < 0.1 mmHg
蒸気密度	データなし

相対密度	0.81 (15.6 °C、水＝1)
溶解度	水に無視できる程度
n-オクタノール／水分配係数	データなし
自然発火温度	220–224 °C (428–435 °F)
分解温度	データなし
粘度	2.5〜3.8 mm^2/s（20〜40 °C）
粒子特性	データなし
密度	約0.79 g/mL（15 °C）

表示されている値は製品固有の標準データを反映しています。ロットごとの範囲は異なる場合があります。出荷ロットの試験成績書を参照してください。

10 安定性及び反応性

反応性	通常の使用及び保管条件下では反応性はない。
化学的安定性	推奨される保管条件下で安定です。
危険有害反応可能性	通常の取扱条件下ではありません。
避けるべき条件	引火点（約100 °C）以上の加熱、裸火、および強酸化剤。
混触危険物質	強酸化剤。
危険有害な分解生成物	燃焼により一酸化炭素、二酸化炭素および未燃炭化水素が発生する。

11 有害性情報

GHS危険有害性分類は第2項を参照してください。

想定されるばく露経路	吸入、皮膚接触、眼接触、経口摂取。
症状	嘔吐時などに肺へ吸引されると化学性肺炎を起こすおそれがあり、死に至ることがある。 蒸気を吸入すると眠気、めまい、頭痛及び吐き気を起こすおそれがある。
遅発性及び慢性の影響	2項の分類以外に遅発性又は慢性の影響は確認されていない。
毒性の数値的指標	データなし

発がん性分類

機関	ステータス
IARC	発がん性物質として記載されていません。
NTP	発がん性物質として記載されていません。
OSHA	発がん性物質として記載されていません。

12 環境影響情報

生態毒性	藻類 ErC50: 3.7 mg/L（72時間、Selenastrum capricornutum — WAF負荷率；IL50（範囲 3.7–8.3 mg/L））；ミジンコ EC50: 1.4 mg/L（48時間、Daphnia magna — WAF負荷率；保守的下限（範囲 1.4–21 mg/L））；魚類 LC50: 18 mg/L（96時間、Oncorhynchus mykiss — WAF負荷率；CONCAWE ケロシン読み替え（範囲 18–25 mg/L））

残留性・分解性	UVCBハイドロカーボンストリーム；成分は本質的／容易に生分解性であるが、難溶性成分を含む。毒性はWAF負荷率として報告されている。
生物蓄積性	データなし
土壌中の移動性	データなし

13 廃棄上の注意

内容物／容器は、適用される連邦、州および地方の法令に従って廃棄してください。排水溝や水路へ放出しないでください。

EPA RCRA廃棄物コード	納入時の状態では引火性なし（引火点60 °C超）。したがってD001には該当せず、リスト掲載廃棄物ではない。使用済みの溶剤は汚染物質を含有している可能性があるため、廃棄前に試験を実施すること。

14 輸送に関する情報

非該当（米国DOT 49 CFR Subchapter C、IMDG及びIATA DGRに基づく輸送）

米国DOTの追加要件	いかなる包装サイズにおいても輸送上の規制対象外：引火点（109–114 °C）が可燃性液体の基準上限値である93 °Cを超えているため（49 CFR 173.120(b)）。

15 適用法令

インベントリ／リスト	ステータス
カリフォルニア州提案65号	非該当
米国環境保護庁（EPA）TSCAアクティブインベントリ	収載
EPCRA SARA 313 (TRI)	非該当
CERCLA報告対象量（RQ）	CERCLA有害物質に該当しない（石油除外規定、CERCLA §101(14)）；RQなし。

SARA 311/312の危険性区分は、第2項のGHS分類に対応します。 データ取得日： カリフォルニア州提案65号 2026-11-02; 米国環境保護庁（EPA）TSCAアクティブインベントリ 2026-11-02; EPCRA SARA 313 (TRI) 2026-11-02.

16 その他の情報

改訂日	2026-11-12
書式	OSHA HCS 2024（29 CFR 1910.1200 付録D）に基づく16項目の書式。GHS改訂7版に整合。

免責事項： 本安全データシートに記載された情報は、発行日時点で当社の知る限り正確なものです。本情報は特定された製品のみに関するものであり、他の物質との併用については対象としていません。ALLIANCE CHEMICAL は、商品性または特定目的への適合性を含め、明示または黙示を問わずいかなる保証も行いません。ALLIANCE CHEMICAL は、本製品の取扱い、保管、使用または廃棄から生じる損失、傷害、損害または費用について一切の責任を負いません。

Alliance Chemical, 204 South Edmond Street, Taylor, TX 76574。本安全データシートは、本製品について登録されている規制データに基づいて作成されている。